

## 小野事業所にマイクロ電池の新棟を竣工

日立マクセル株式会社(取締役社長:千歳 喜弘)は、小野事業所において三棟目となる新棟を2015年1月15日に竣工しました。当社は現在、2014年9月10日に公表したとおり、自動車用CRコイン電池\*1の需要増に対応するため、小野事業所に生産設備の増強を進めています。この新棟建築は本計画の一環であり、既存の建物を含めて生産エリアを拡大することにより、マイクロ電池全体での生産能力増強を順次進めていきます。



小野事業所新棟外観

所在地	兵庫県小野市匠台5
規模	幅40m×長さ40m×高さ10m(鉄骨2階建て) 延床面積:3,280m <sup>2</sup> (994坪)

CRコイン電池は自動車の電装化による市場成長などにより、今後も需要増が見込まれており、当社は2015年度末までに約18億円を投資して従来の約1.5倍\*2にあたる生産能力に増強する計画です。2015年5月を目途に新規ラインを導入するほか、生産性を大幅に向上させることによって、市場の要求に応えるとともに、さらなる高収益化を推進していきます。

当社は小野事業所をマイクロ電池の技術拠点と位置づけてモノづくり力の強化を進め、コイン形リチウム二次電池「CLB\*3」に代表されるような最先端小型電池の製品開発を促進することにより、多様な需要に応える製品を提供することで、今後もさまざまな場面でスマート社会の発展に貢献していきます。

\*1:CRコイン電池:コイン形二酸化マンガンリチウム電池

\*2:2014年9月時点に対する2015年度末時点のマクセルのCR電池の生産能力

\*3:CLB:Coin-type Lithium Rechargeable Battery

以上